

## 議事録要旨

会議の名称	第２回勝浦市地方創生総合戦略策定推進会議
開催日時	令和２年２月６日（金） １４時３０分から
開催場所	芸術文化交流センター 会議室
会議の議題	１．平成３０年度総合戦略事業の活動報告及び事業検証について ２．次期総合戦略策定について ３．その他
会議の概要	<p><b>出欠確認</b></p> <p>会長から、出席者１１名であり、定足数に達していることから会議の成立について説明。</p> <p><b>前回議事録概要及び会議趣旨説明</b></p> <p>資料２ 前回議事概要 資料６ 実施計画の概要</p> <p><b>概要</b></p> <p>事務局から、前回議事の概要を報告し、前回評価保留になっていた評価について、内容を再度報告し、評価していただきたい旨説明。</p> <p>また、次期、地方創生総合戦略については、平成２７年度に本市の人口減少を克服し、地域経済の発展、活力ある地域社会の形成などの課題解決に向けて策定し、令和元年度までの５年間としているが、総合戦略は、現行総合計画と基本的考え方を合致させるとしている。</p> <p>現在、別途、総合計画（第４次実施計画）を策定しており、その擦り合わせに時間を要していることから、次期総合戦略を令和２年度まで延長した対応を考えている。</p> <p>ついては、来年度までの目標値を踏まえた、今後の事業内容について、審議いただきたい旨説明。</p> <p><b>議題（１）平成３０年度地方創生推進交付金事業の活動報告及び事業検証</b></p> <p>資料３ 評価基準 資料４ 事業評価シート</p> <p><b>概要</b></p> <p>事務局から評価基準に基づき担当課評価を行っていること。委員の評価については、疑義等がなければ事務局案を委員評価とする旨委員全員の了</p>

承があった後に、前回保留にであった事業について説明を行った。（幼稚園/全世帯数・30世帯、軽減対象世帯5世帯。参考、保育所/全世帯数158世帯（3歳から5歳）、軽減対象世帯25世帯）

### 質疑等要旨

質疑等委員から意見がないことから、議長より各委員に対し、担当課評価を委員の評価とすることの確認があり、各委員の意義がない旨確認と了承がされた。【評価結果B】

### 議題（2）次期総合戦略策定について

資料1 次期総合戦略策定にあたって

資料5 勝浦市 勝浦市まち・ひと・しごと創生総合戦略（素案）

資料 勝浦市まち・ひと・しごと創生総合戦略（平成27年10月）

資料 勝浦市 人口ビジョン（令和元年8月）

### 概要

事務局から、変更修正箇所については、赤字及び見え消し部分であり、事業の変更修正箇所及び目標数値事項について、1年延長するにあって目標数値算定内容について説明を行った。

### 質疑

委員（鈴木）： 1点目、説明に対して、確認する資料が飛んで理解しづらい。

2点目、総論として伺いたい。住みたい田舎ランキングで、首都圏でいすみ市が4年連続トップであること。勝浦市といすみ市でそんなに遜色ないと思われるが、市として分析をどのようにしているのか。

3点目、新聞等で国は地方創生会議の5年間の総括として、東京への集中を止めることができなかった、と言っている。これは結論として、国に切り札がないと言っているのと同じだが、市として人口減少に対応した施策を、どう考えているのか。

4点目、前回の会議で、企業誘致件数5件とあるが、どのような業種の企業が誘致されたのか。

企画課： 2点目からの回答として、住みたい田舎ランキングで、いすみ市がトップということだが、本市においても、住みよさの向上を一つの

キーワードとして、現在策定途中である総合計画第4次実施計画の中で予定している。いすみ市では福祉施策に注力されていると伺っているので、市としても、それらの点を踏まえて検討していきたいと考えている。

3点目の、人口減少対策として、人口が増えるには、出生、転入の増加に繋がる施策が必要であり、出生については、戦略にもあるように認定こども園の整備をした。今後は、放課後ルームの整備などを充実させるなど、子育て環境を整えるようにしている。

そういったものを中心に市の魅力が高まって、市外から転入者が増えることで、より良いまちになるという相乗的な観点で事業に取り組んでいる。

4点目の、企業誘致につきましては、保養所だったところの跡地への旅館業を営んでいる企業の進出など。

委員（川村）： 前回の6月に検証を行ったことを踏襲して、1年延長する戦略として、すべてAの評価となるように事業を実施していかないと、絵に描いた餅になってしまう。

国が問題としている、人口減少対策、これから迎える少子高齢化への対応として、大きな工場が建ち、そこで雇用が生まれ、住んでもらうというのは理想だが、国内のメーカーなども海外に出て行っている中で、勝浦を選んでもらう強みというものを、活用していく必要があるのではないか。

人口問題として、結婚、出産というのは、なかなか簡単にいくものでないと理解している。そういう中で、新しい人を勝浦に来てもらう施策を考えていかなければいけない。

働き手についても、若い人であるばかりでではなく、これから70歳まで働こうという国の施策もあるので、高齢者の雇用確保や、働きやすい環境をつつていくことも、雇用の促進に繋がると思える。

子育て施策は当然に重要と思え、子育て支援に力を入れている自治体を参考にして、実施に繋げていくことが重要ではないか。

今後、実施する事業が、すべて評価がAになるように、どうすべきかを考えて次の戦略を考えていただきたい。

企画課： 仰るとおりであり、目標数値も先ほど説明したとおりであり、目標として高い部分もある。そういう中で、人口減少に対して歩み

を止めないという気持ちで、評価についてもAを目指す気持ちで取り組んでいく。

先ほどの意見にもあった市の強みとしては、観光、漁業、農業でと認識している。観光で来訪された方に、美味しい魚や野菜を提供することで、繰り返し来訪してもらうことで、雇用が生まれるという好循環が生まれるような方向で検討していきたいと思っている。

委員（金高）：市として、勝浦駅裏開発をどう考えているのか。

広い土地を3億で購入したが、自衛隊等を活用すれば、土地の造成もできるような話も聞いている。ニュー黒潮台、若潮台、潮見台とかなりの戸数の住宅が建つ中、活用する考えがないと、この人口減少というピンチを乗り切れないのではないかな。

墨名区でも、年よりしかいない。若い世代は出て行ってしまっている。街中の30坪の土地ですら売れない。このままでは、廃れるばかり。

また、釣りが好きで、勝浦に訪れる人は多くいる。そういう人たちに土地を買ってもらうなどの活用法もあると思っている。

企画課：市単独での開発は困難であり、現在、大手の開発事業者にあまっている状況。開発事業者からは、山や谷があり、造成費に経費がかかること、現時点での取り付け道路もないなどもあり、話の進展はない状況。

千葉のおゆみ野、鎌取周辺などでは、駅から遠くても、開発が用意なところが分譲されているところもあるが、勝浦駅裏という立地を生かして、良い事業者と話が進むように、引き続き努力していきたい。

委員（吉野）：抽象的な話になるが、勝浦市のPRとして、例えば東京オリンピックでは、マラソンが札幌で行われるという事例もある。以前テレビでは、沖縄の方が、東京より涼しいという報道も観たことがあり、沖縄県は、海に囲まれて、海風で涼しくなっているという内容であった。勝浦も、「夏涼しい」という気候で恵まれているので、そういったところをPRしてはどうか。

特に、東京は暑いというイメージが報道でついている中、それほど距離がないところで、避暑地でPRしてはどうか。

企画課： 仰るとおりであり、勝浦は真夏日が少なく、猛暑日がないと確認している。そういうことで避暑には最適かと思っている。昨年の夏にはホテル三日月が、新たなマリンアクティビティを初め、好評となっており、夏がメインという勝浦でどれだけ来訪してもらうかということと、通年で来訪されるものを担当部署と検討している。

委員（鈴木）： 一宮町は新しい家が建ち並び、人口が減っていない。オリンピックのサーフィン会場というのものもあるかもしれないが、移住者が増えているという。

人口が増えているのは、全国では松本市と聞いているが、やはり勝浦市の人口を増やすには、若い世代が入ってきてもらわないといけない。勝浦市も松本市とまでは言わないが、他市の事例をよく参考にし、検討してもらいたい。

勝浦市も、勝浦駅以外に、太陽光目的でタカラレーベンに貸し付けた広大な土地があり、そこも山や谷があったが、事業者がうまく活用していた。そういった部分をみても、勝浦駅裏の開発は事業者によってもらった方がいい。

企画課： 委員の話は、私も一宮町の職員に以前に聞いている。それは、東京に通勤可能な距離という要因もあろうかと思うので、市としても特急本数や時間帯の要望を JR に継続的に行っていく。

開発の関係は、条件が整えば事業者も現れると思えるので、その点も継続的に行っていく。

（質 疑 終 結）

会 長（渡辺）： 事務局から説明があった素案及び計画期間を 1 年間延長することに意義ないか。

（異議なし）

### 議題（３）その他

企画課： 今後、令和 3 年度以降の新総合戦略策定を、令和 2 年度から取りかかるので、委員のご協力をお願いしたい。